

# 大会宣言

択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島からなる北方四島は、私たちの先人が血と汗で開拓した地として受け継いできたものであり、いまだかつて一度も外国の領土となつたことがない我が国固有の領土である。

北方領土問題をめぐっては、令和4年2月からのロシアによるウクライナ侵略に起因し、ロシア政府が、平和条約交渉を継続しない等の措置を一方向的に発表し、さらに、四島交流及び自由訪問に係る合意の効力を停止する旨の政府令を発表するなど、日露関係は厳しい状況にあり、戦後78年を迎えた今日においても、いまだ問題解決の道筋は見えない。

北方領土交渉の展望を見通すことは難しい状況にあるが、政府においては、今後ともロシアとの交渉を強力に進め、一日も早く具体的な成果が得られることを期待する。

北方四島を追われ、一日も早い故郷の祖国復帰を望む元島民の方々の多くが、他界されており、生存されている方も高齢となる中、これ以上、領土問題の解決に歳月を費やすことは許されない。

私たちは、今後とも北方四島の一括返還の実現を目指し、政府の外交交渉を後押ししていくとともに、新たな決意のもとに粘り強く北方領土返還要求運動に取り組み、更なる世論の喚起を図ることを、本大会の名において宣言する。

令和5年8月25日

北方領土返還要求北海道・東北国民大会